

001

ファンタジー・SF1

角川書店

9136



きまぐれロボット

きまぐれろぼっと

著 星新一

この本には短いお話がいくつも書いてあり、一つの物語が五分くらいで読めるので、ちょっと時間があるとき、本を読むのが苦手な人でも楽しみながら読める本です。例えばあるお話では、すごく便利でおもしろいロボットができたと聞いて買った人が、使っていたら故障したかと思いきや…。など、結末が知りたいというわくわくした気持ちになれます。一度読んだら止められなくなるはずです。／若葉中 M.K

星新一さんは1001編のショートショートを書いたことで有名です。ほかの本もぜひ探してみてください。

002

ファンタジー・SF1

講談社

9136



霧のむこうのふしぎな町

きりのむこうのふしぎなまち

作 柏葉幸子 絵 竹川功三郎

中学生には幼すぎるものなのでは…と思う人もたくさんいると思います。私はこの本を小学校三年生のときに読みました。とても面白かったです。ただ、その面白い理由を聞かれると、どうも答えにくい自分がいました。でも、中学生になってもう一度読み返してみたいです。すると、前に読んだ時よりも、確実に面白くて、主人公のリナが繰り広げる、ふしぎな旅を見事に表現しているなあと感心しました。皆さんにもぜひ読んでもらいたいです。／桜丘中 ムー★

『不思議の国のアリス』をおすすめしてくれた人もいましたが、前に読んだ本、読んだつもの本をもう一度読むのも、新しい発見がありそうですね。



チョコレート・アンダーグラウンド

ちょこれーと・あんだーぐらうんど

著 アレックス・シアラー 訳 金原瑞人

この本は、チョコレートをとりかえすために、仲間との絆を深める物語です。最初は意見がぐいちがったり、けんかして仲間割れをすることもありますが、でもそういうことがあったからこそ、絆がより深まり、思いやる心もできるのだと思います。一人ではできないことも仲間みんなできやればできることもあると、わたしはこの本を読んで学びました。子どもたちが、大人に向かって戦うところはとてもかっこいいです。／菊井中 O.Y

チョコレートを禁止されるなんて、驚くような法律ですが、何かを禁止されることはよくある話です。そんなときどうするか、考えさせられますね。

004

ファンタジー・SF1

アスキー・メディアワークス

9136



キノの旅-the Beautiful World-シリーズ

きののたび -ざびゆーていふる わーど- シリーズ

表紙:キノの旅-the Beautiful World

著 時雨沢恵一 絵 黒星紅白

キノと仲間たちのアクションやリアクション(セリフ)がとてもおもしろいので、ぜひ読んでみてください。

005

ファンタジー・SF1

新潮社

9136



しゃばけ

しゃばけ

著 中村恵

主人公一太郎の家にいるよう怪たちがとても個性的でおもしろく、一太郎とのやりとりがとても楽しいです。



I like books!!

What is your favorite book?

006

ファンタジー・SF1

メディアファクトリー

953



タラ・ダンカンシリーズ

たら・だんかんしりーず

表紙:タラ・ダンカン 若き魔術師たち(上)

著 ソフィー・オドゥワン・マミコニアン 訳 山本知子

魔術師のタラ・ダンカンを主人公にエルフや小人などが登場します。ファンタジーの魅力がぎゅっとつまった本です。

007

ファンタジー・SF1

岩波書店

933



ナルニア国物語シリーズ

なるにあこくものがたりしりーず

表紙:ライオンと魔女

作 C.S.ルイス 訳 瀬田貞二

この本を読み終えたとき、たんすの中をのぞいてしまいました。それくらい、引き込まれるお話なのです。

008

ファンタジー・SF1

静山社

933



ハリー・ポッターシリーズ

はりー・ぼったーしりーず

表紙:ハリー・ポッターと賢者の石

作 J.K.ローリング 訳 松岡佑子 絵 ダン・シュレジンジャー

ハリーのいろいろな行動に、読むたびにドキドキします。ハリーの友情関係や、不思議な魔法も見どころです。

選定委員からの
メッセージ

ファンタジー・SF1



私の好きなとあるアーティストは、子どものころ近くに図書館がなかったので、借りた本を長く楽しもうとノートにすべて書き写し、余白に自分で考えたサイドストーリーを書き込んでいったそうです。

私はこの話を聞いたとき、『はてしない物語』（ミハエル・エンデ作 岩波書店）を思い出しました。物語の本筋から去っていくとき、「けれどもこれは別の物語、いつかまた、別のときにはなすことにしよう。」と新たな冒険をほのめかされる登場人物たち。その広がりはまさにはてしなく、物語世界のあまりの奥深さに震えが走ったものです。

今回おすすめしてもらった本も、物語として書かれた部分を入口として、その向こうにはそれぞれの世界がはてしなく広がっていることでしょう。多くの世界を訪ね歩くもよし、一つの世界を深く旅するもよし。みなさんのお好みの世界を探してみてください。